

会 議 録

1 会議の名称	議会運営委員会
2 日 時	令和 4年 9月 14日 (水) 午前 9時 39分 開会 午前 10時 29分 閉会
3 場 所	全員協議会室
4 出 席 者 (8人)	中山真由美 小沼 富夫 大垣 真一
	橋田 夏枝 宮脇 俊彦
	茅田 巖 舘 大樹
	八島 満雄 (議長)
5 欠 席 者	なし
6 委 員 外 議 員	土山由美子 越水 崇史 山田 昌紀
7 説 明 員 (11人)	副市長 (宍戸 晴一)
	企画部長 (山室 好正)
	総務部長 (吉川 武士)
	市民生活部長 (大津 隆治)
	経済環境部長 (石田 康弘)
	教育部長 (大山 剛)
	学校教育担当部長 (濱田 保)
	財政課長 (八楸 文子)
	商工観光課長 (志村 政昭)
	教育指導課長 (嶋本 信之)
農業委員会事務局長 (伊藤 陽一)	

8 傍 聴 者	なし
9 事 務 局	局長 次長 係長
10 会議のてんまつ	別紙のとおり

議 題 1 会期の日程の確認について

午前9時39分 開会

○委員長【中山真由美議員】 おはようございます。急遽、議会運営委員会を開会いたしまして、皆様にお集まりいただき、ありがとうございます。

本会議において、会期の日程の確認の動議が出ましたので、会期の日程の確認についてを議題といたします。皆さんから御意見を伺いたいと思います。

○委員【館大樹議員】 創政会を代表して、1点申し上げます。

本日、御案内のとおり、議論の前提となります決算数字に多くの誤りがあったということであります。したがって、落ち着いた環境で行うべきだと考えています。本日本日予定しておりました日程につきましては、明日にずらすことを御提案したいと思います。

○委員【橋田夏枝議員】 会派では話せていないんですけれども、状況としては。ですから、会派を代表してというところはふさわしいか分からないんですけれども、確かに今日の総括質疑に影響がある程度の誤りが見受けられたということもある、影響はあるだろうという形ですから、そこで、じゃ、どうするという話までまだできていないんですけれども。すみません。

○委員【宮脇俊彦議員】 かつてない数の修正がここで行われたということで、詳しくは、今日、朝、メールはいただきましたけれども、具体的にどう変わったかと分からないまま来て、やったということなので。そうはいっても、市長はああいうふうに釈明はしたので、私はもう一回、何でこんなことが起こったのかについて、きちっと市長に話していただいて、1時間後に10時半開会ということでやられたほうが。全部ずらしちゃうとまた大変なことに、いろんな影響が出てくるので、1時間ずらして、質問者はもう既にいろいろ話をされていると思いますけれども、自分のところが該当するかどうかは、その間にチェックしてもらって、開会するというふうにしたらどうかなと思っています。

ただあれだけだと、何でこんなことになったのか、よく分からないので、市長に一回、もう一遍、なぜこういうことになったのかについて中身がある話をしていただきたい。で、1時間後に再開したときに市長から話してもらった上で、予定は今日総括できればということがいいと思います。

○委員【小沼富夫議員】 どっちも間違っていないと思うので、慎重に検討したいとは思いますが。今の御意見だと、まずは市長にその答弁が求められるものなのかどうかというのを確認しなきゃいけないし、あとは、今日おやりになる方の、総括される方の意見というか、時間の、もしくは午後からとかという話の中で準備ができるかどうか、その辺を、暫時議運も休憩を取って調整してもらったほうがいいというふうに。

○委員長【中山真由美議員】 分かりました。それでは、皆様の今の御意見を伺いまして、暫時休憩とさせていただきます。

○委員【小沼富夫議員】 あわせて、各会派でやられる方に、再度、今日できるかどうかというのを確認を、質問者の意思を確認を取ってきていただきたいと思います。

○委員長【中山真由美議員】 それでは、再開はまた御連絡いたします。

午前 9 時 4 3 分 休憩

午前 1 0 時 再開

〔休憩中、執行部入場〕

○委員長【中山真由美議員】 それでは、再開いたします。

先ほど、宮脇委員から、先ほどの本会議場で市長から御説明をいただきましたが、やはり再度詳しい説明をいただきたいということで、各部長から御説明をいただきたいと思います。

○副市長【穴戸晴一】 個々の御説明をいたします前に、改めまして私から、先ほど市長が申し上げましたとおり、再度お詫びを申し上げたいと思います。今回の決算を審査していただく議会における大事な資料に、これだけ大きな誤りが続出してしまったという点につきましては、改めてこういったことが起こらないためにはどうしたらいいのかというのを再度チェックしながら対応させていただきたいと思っております。本当に申し訳ございませんでした。

先ほど議会の中でのお話し合いの中で、当然議会に出してくる決算の議案ですから、監査を経てきているはずだと。その段階ではどういうやり取りがあって、こういうチェックが働いていたのかどうなのか、そこに疑義を抱かざるを得ないというような御発言もあったやに聞いております。今回、まずは議会へ提出いたしました決算の議案本体につきましては、これは監査を経た結果としてまとめた資料でございまして、その部分につきましては議案の修正はございません。あくまでもその議案を審査いただく上で必要となります情報、かつては常任委員会ごとに、あるいは各部ごとに様々な様式で作成していた資料でございしますが、これも議会とのやり取りの中で、最低限様式は整えろという御指摘もいただきまして、全体の予算、それから決算との結びつきを含めて、統一の様式で説明資料を作らせていただいているところでございます。ですので、比較的詳細な中身まで入ってくる資料でございしますが、あくまでも監査を受けるときの資料とは別枠でございまして、議会用に作成しておりますのが、行政資料、それからまた各常任委員会に審査をしていただきます説明用の資料、議会専用の資料でございします。したがって、監査につきましては、これはまた別の様式等に基づきましてチェックをしていただきまして、その結果、この意見書のとおり、まとめていただきましたものをもって議案を提案させていただいているということで御理解いただき

たいと思います。

だからといって、今回のような形で非常に多くの箇所、まとめた様式自体を差し替えさせていただかないといけないというふうな、ある意味、ケアレスミスが起こった点については、改めてお詫びを申し上げますとともに、こういうことがない形で、きちんと庁内を改めて徹底してまいりたいということをお話しさせていただきまして、冒頭の御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○委員長【中山真由美議員】 それでは、各部長より御説明をお願いいたします。

○総務部長【吉川武士】 私からは、行財政改革推進計画における時間外勤務の縮減の関係でございます。こちらにつきましては、既に正誤表をお送りさせていただきまして、各議員に御連絡をさせていただいているものでございます。

内容といたしましては、改めてでございますが、時間外勤務の縮減の項目におきまして、職員1人当たりの月の時間外勤務でございますが、当初13.9時間ということで表示させていただきましたが、こちらが誤りでございまして、正しくは12.9時間が正しいということでございました。本当にこちらの注意不足、確認不足でございます。大変申し訳ございませんでした。

ちなみにこの12.9時間というのは、昨年度の10月から庶務事務システムを導入いたしまして、時間外においても、災害対応に係る時間外、ワクチン接種に係る時間外、選挙に係る時間外、いわゆる臨時的な業務に係る時間外を別に算出いたしまして、令和3年度の職員1人当たりの時間外勤務の数字としては2種類持ったことで、その関係で、誤って異なった数字を載せてしまったところでございます。いずれにいたしましても、確認不足、チェック不足ということでございます。申し訳ございませんでした。

○委員長【中山真由美議員】 すみません、総務部長、今おっしゃった御説明で、数字が逆になっておりまして、12.9というのが誤りで、修正した後は13.9でございますので。度々申し訳ございませんが。

○総務部長【吉川武士】 大変申し訳ございません。12.9時間が誤りで、正しくは13.9時間ということでございました。大変申し訳ございませんでした。

○委員長【中山真由美議員】 それで、主に聞きたいのは、なぜそういうミスが起こってしまったのか、今後そういうミスをなくすためにどうするのかという御説明を伺いたいのので、この流れの要因というものではありませんので、よろしく願いいたします。

○総務部長【吉川武士】 本当に、まずダブルチェックを欠かさずやるということ、それから、今、文書管理システムで決裁を行うんですけれども、こういった数値についてはまたちょっと改めて、紙で出力することによってチェックするなど改めていきたいと思っております。また、こういった要因で誤りが生じたのかということにつきまして検証しながら対策を講じてまいりたいと考えてござ

います。

○委員長【中山真由美議員】 次の部長、お願いいたします。

○市民生活部長【大津隆治】 市民生活部でございますけれども、今、総務部長からありました時間外の間違いに続きまして間違いが見つかって、御迷惑をおかけした市民生活部の内容でございますが、令和3年度の主要な施策の成果に関する説明書の117ページになります。商工費の消費者保護対策費の消費者保護事業費の説明の中で、相談件数が659件となっているものが、本来であれば569件ということで、さらにこの659件と569件の大きな違いといたしましては、前年度と比較いたしますと、間違っただけでなく前年度より増えているという状況になります。正しい数字ですと前年度より減っているという状況になりますので、審査に大きな影響を及ぼしてしまうようなミスがございました。大変申し訳ございません。

それで、今回市民生活部のミスは、決算資料でございますので、数字の間違い、あつてはならないミスをしたのと併せて、もう1つ大きなミスをしておりまして、実はこの質問表を議員から頂いたときに、市から出した資料を確認せずに、質問が違っていますよというようなことを返して調整をしてしまった。また、その議員から、ここにこう書いてあるじゃないかという御指摘を受けて、初めてミスに気づいたということで、うちのミスといたしましては、1つ目としては数字のミス、2つ目としては仕事の進め方のミスだろうということで、担当の所管には注意、指導したところでございます。本当に数字のミスもあつてはならないですけども、2回目の仕事の進め方のミスというのは大きな問題として認識しているところでございます。申し訳ございませんでした。

この数字の間違いは6と5が入れ替わったというようなミスでございますけれども、担当者が何度も確認して、係長、課長でダブルチェック、トリプルチェックをかけているはずのものが、こういう外に出ているということで、もう一度きちんとしたチェック体制を整えるとともに、基のデータをちゃんとチェックしないと、自分たちで作った資料と、最終的にできた資料を作っても、間違っただけでなく数字がそのままになってしまいますので、どういった数字、大本にある数字がどれなのかということを確認した上で、何が正しい数字かということを確認した上で、きちんとチェックするような体制をつくるのをはじめ、誰がどこを本当にチェックしたかということのを、特に紙ベースですとマーカーしたり、チェックしたよというのは分かるんですけども、電子データでチェックしますと、本当にそこを見たのかどうか分からないので、そういった工夫をしていくように、今、改めているところでございます。

いずれにしても、本当に大きなミスをしてしまいました。大変申し訳ございませんでした。

以上でございます。

○委員長【中山真由美議員】 よろしいでしょうか。次の部長、お願いいたします。

○企画部長【山室好正】 それでは、企画部でございます。

訂正させていただいたのは、行政資料でございます。行政資料の24ページでございます。不納欠損額と収入未済額の調書でございます。内容といたしましては、伊勢原駅北口A街区市街地再開発組合貸付金元金収入のところで不納欠損額が生じておりましたが、その中の前年度対比の率がでございます。原因といたしましては、調書を作るのにエクセルで作っているんですが、それをコピーしている間に行を入れております。そうしますと、裏で計算式が残ってしまい、計算式で計算をしてしまったというのが原因でございます。打ち出しされた調書を全部検算をして確認するというのが、本来の話ですが、エクセルの電算システムを信用してしまったというところが、今回の原因でございます。なので、打ち出した調書を、パソコンの機能を信用しないで、もう一度資料をチェック、そして検算することが、今後の対策になるかと思えます。大変申し訳ございませんでした。

○委員長【中山真由美議員】 次の部長、お願いします。

○教育部長【大山剛】 教育部でございます。

私からは、行政資料の関係の1点の訂正について御説明させていただきたいと思えます。行政資料の160ページでございます。伊勢原市立図書館の利用状況でございます。こちらの訂正させていただいた部分が、1日当たりの貸出者数、これが4月と5月の数字が、それぞれ985名、1040名となっておりますけれども、こちらが、訂正させていただいた数字が4月が433名、5月が458名でございます。それから、その2つ下ですけれども、1日当たりの貸出冊数でございます。基の資料では3677冊、それから3837冊となっておりますが、こちらにつきまして、4月が1618冊、5月が1688冊ということで、間違いになっているところにつきましては、ほぼ倍近い数字を記載してしまったところがございます。

こちらにつきましては、計算をするエクセルで計算ミスがございまして、それを、この行政資料に差し替えるときにはワードベースで差し替える、そのときに数字の打ち間違い、エクセルのデータをそのまま使ってしまう、後日見直したところ、あまりにも4月、5月が1日当たりの貸出者数、それから貸出冊数が多くて、もう一度確認をしたところ、誤った数字が記載されていたというものでございます。本来、このようなミスは当初に気づくべきであったところでございますが、本当に事務的な単純なミスでございます。今後こういうことがないように、細心の注意を払っていきたいと思えます。申し訳ございませんでした。

○委員長【中山真由美議員】 次の部長。

○学校教育担当部長【濱田保】 学校教育担当部長の濱田でございます。大変申し訳ございません。

教育指導課の教育部、決算資料のB資料のところで、教育研究指導費の部分で間違いがございました。東京オリンピック観戦事業費3万5040円のところを、エクセルの表のところで、それが合計額に反映されていなかったのもので、差し替えていただいているものでございます。このミスとしましては、エクセルの

数式の過ちに気づかなかったこと、そしてダブルチェックが行き届かなかったことが今回のミスの原因でございますので、大変申し訳ございませんでした。

以上でございます。

○委員長【中山真由美議員】 お願いします。

○経済環境部長【石田康弘】 経済環境部でございます。

今回、私どもでは、産業建設常任委員会の審査資料の商工観光振興課の決算明細に誤りがございました。内容といたしましては、補正予算でお認めいただいたキャッシュレスやマイクロツーリズムなどの節の合計は掲載しておったんですが、その合計の目の合計数値を計算式を入れずに出してしまったということで、そこが漏れてございます。また、決算上は執行がなかった災害復旧費、あるいは道灌まつりのところを、本来でしたら、予算がありましたので表示しなければいけないところを隠してしまったということで、計算上は合っているんですが、手計算すると、そこだけ当初予算が計算されないということで誤りでございます。いずれにしても、チェックのミス、あるいはダブルチェック、今後については、目でいろいろ確認しながら対応したいと思います。どうもすみませんでした。

○委員長【中山真由美議員】 次、農業委員会ですね。

○農業委員会事務局長【伊藤陽一】 農業委員会事務局でございます。大変申し訳ございませんでした。

私どもは、産業建設常任委員会の決算資料の2ページと3ページにございます歳入の部分の科目の款の番号が、昨年度1つずつずれておりまして、そこが、一度チェックをかけたんですが、内部のお話をさせていただきますと、事務局内のプログラムの修正はしたものの、取りまとめを行う庶務担当課のプログラムの款番号の誤りを担当が修正漏れをしまして、そのまま数字が流れてしまったということでございます。今後につきましては、提出する段階でまた再度私もチェックをかけて、再発の防止に努めてまいりたいと思います。本当に申し訳ございませんでした。

○副市長【宍戸晴一】 ただいま各部局から御説明させていただきました。改めてこの場で私が申し上げるのもあれなんですけど、いわゆる表計算のソフトを使って、本来は誤りなく正確に作らなくてはいけないところを、多分前年度まで定義をしてある、それぞれのセルの中身の式が消えてしまったとか、あるいは新しく列等を挿入したことによって、表計算のソフトとしては機能しているんだけど、結果として答えが誤ってしまったようなケースがある。何でこれが、1回の誤りが、例えばあったとしても、最終的に資料として担当部長としても入れていく段階でのチェックが働いていなかったというのが、今回こういった形でお詫びをさせていただく大本の一つかなと思っております。

私自身もエクセル等で作表いたしますと、あたかもそれが正しいように見えてしまうような、そういう性格もあるなというのが率直なところでございますけれども、だからこそ、余計新しく考えないと、例えば決算説明資料を作るということであれば、改めて空の状態できちんと式を定義されているのかどうかという

ころからチェックに入った上で資料を作成していく必要性は改めて感じました。また、この後、再発防止に向けて庁内へ周知してまいりますけれども、総論としてというだけではなくて、やはり具体的にどういう誤りが起こったのかということも含めて説明した上で、ダブルチェックならダブルチェックがきちんと働くよう徹底を図ってまいりたいと思っております。

以上でございます。

○委員長【中山真由美議員】 それでは、ただいま部長から説明がありましたのを受けまして、皆様から再度御意見を伺えればと思います。

○委員【館大樹議員】 ただいま御説明いただいて、経過は承知いたしました。それを受けて、今日やるのか、明日やるのかという話ですが、今日できるのだったら、この後、やって。

○委員【宮脇俊彦議員】 ミスは単純なミスかもしれないけれども、1か所とかいうのは、これまでも修正はあったけれども、こんなに一斉に出るといふのはあり得ないことだと思うんですよ。大切な決算審査をやるときに、前日なり当日、こうやってやるということは決して起こしてはならないというのが一つと、先日、静岡で女の子が亡くなりましたよね。6人か7人しか乗っていないんですよ。降りていったときに、運転手も確認しない。出た人もね。来ているはずになっているのに確認しない。ほんのちょっとしたことで大きなことにつながるというのが、今の状態だと思うんです。それは機械はやってくれますよね。でも、私たちが指摘しなければ、こういう間違いをやって、これはまだほかにも、実は気づかないで起こっている可能性もあるのではないかという。こういうふうに出ると心配されることがあって、やっぱり軽く考えないで、きちっと対応してくれないと、私たちが審査するとき、あれ、どうなっているんだ、いい数字だなと思ったら全然違うということもあり得るので、そのことについてはやっぱりきちっと対応を、さっき副市長も言われましたけれども、改善を図っていただかないと、毎回出た数字が正しいんですかってやりだしたら、皆さんの信頼がなくなっちゃうので、その辺を重々考えて、小さいことだけれども大切なことだと認識していただきたいと思っております。

私からは以上です。

○委員【橋田夏枝議員】 確かに人は間違いを起こすものだと、私はいつも自分自身も思っているんですが、ただ、個人の間違いを、皆さんチームでやっていらっしゃるのだから、幾つかフィルターを通っていると思いますので、その段階でやはり気がつかないといけないのではないかと。皆さんも事務のプロなので、新しい職員がどんどん入ってきていると思いますけれども、そういったところで、チームとしてやってもらう。誰のせいとかにしてほしくないです。だから、1つの部署でちゃんともう一度見直しをかけていただきたいと思っております。

○委員長【中山真由美議員】 それでは、意見が出たというところで、執行部側に一度退席いただきまして、再度委員に諮りたいと思っております。よろしく願いいたします。

〔執行部退場〕

○委員【小沼富夫議員】 それでは、このことを改めて協議したいと思います。

1 つには、先ほど宮脇委員から本会議場の中で説明というお話がありましたけれども、今の説明を聞いて、ちょっと市民に対しての説明することじゃないと思うので、冒頭も市長がやられたので、それを受けて、この時間をきっと執行部は重く受け止めていると思うので、再開の時間を決めたらどうかなと私は思います。いかがでしょうか、皆さん。

○委員【館大樹議員】 一任いたします。

○委員【宮脇俊彦議員】 私はやっぱり、今、副市長が取りまとめをやったから、一人一人は言わなくてもいいけれども、こういうことが大きな要因で起こしてしまいましたということで、一言やっぱり言って、で、二度と起こさないと言っていたかかないと、本当に大丈夫かなって。そんなに難しい話では、私も聞いていて、恥ずかしいような話。でも、1 か所じゃなくて、これだけ7 か所も起こしたというのは本当に今後もあり得るから、やっぱり副市長に一言説明とお詫びをしてもらって、今、こういう時間なので、11時から再開でもいいですし、で、通常のあれに入っていたかということ、私はいんじゃないかと思います。

○委員【小沼富夫議員】 先ほども私、申し上げましたけれども、市長が冒頭で、あれは議事録として残るんだよね、当然ね。開会もしましたので。で、なおかつ今度副市長にとっても、なかなかそれはどうなのかなと思いますので、ぜひ宮脇委員、御理解いただいて、今、宮脇委員が言われた11時再開は1時間になりますので、ちょうど午前中1人ということで、これは切りもいいと思うので、皆さん、いかがでしょうかね。

○委員【宮脇俊彦議員】 私は、おおよそね、今、私たちは聞きましたよ。やっぱり残っている議員の皆さんは、何のことか全然分からないままになるから。私も聞いていて、私の一般質問に関わっている問題で、多分それでチェックしたら、間違っているというのは気づいたんだなと思う。そういうことで、今回、私はチェックで気づいたのがあったもので、だからやっぱりちょっと言ってくれないと、何でこんなになったか分からないから。（「議員を集めてやる。みんなに、議員には」の声あり）

○委員長【中山真由美議員】 いろんな御意見、今、伺いまして、まずは11時から再開でよろしいですか。1点目、日程的に。（「了解」の声あり）

もう1つは、議員全員に、本会議場ではなくて、部長から説明ということでもよろしいでしょうか。

○委員【館大樹議員】 もう既に11人、半分以上ここにいて、会派で展開すればいいんじゃないですか。我々は聞いていたわけだから。

○委員長【中山真由美議員】 会派の代表が議運にいらっしゃる、委員外議員もいらっしゃるといところで、じゃ、会派に展開すればよいという御意見が出ましたが、よろしいでしょうか。

○委員【宮脇俊彦議員】 私は、今後起こさないためにも、今後きちっと改善するというあれを示してもらうためにも、全議員の前でね。やるってことは意味があるんですよ、すごい。これはそういうことだということを、やっぱり執行者側も意識するし、私たちもそういう中でね。

○委員【小沼富夫議員】 全員ちょっとここに呼んで、議員に説明してもらったほうがいいよ。それで、しっかりやればいいんだから。だけど、さっきの部長の説明を聞いたって、そんなに発展的じゃないじゃないですか。そうでしょう。もう一回、じゃ最後ここでやるならば、副市長にもう一度さっきのを聞いてまとめていただいて、御挨拶いただくだけでいいなら、そっちのほうがいいと思う。また一人一人聞いても、エクセルがどうで、何がどうでという。と思うんですけども、皆さんいかがでしょうか。もう11時にやるには少し。

○委員長【中山真由美議員】 そうですね。副市長がまとめて全議員に説明でよろしいかと思いますが。

(「異議なし」の声あり)

○委員長【中山真由美議員】 それでは、副市長に、今、部長が言っていたことをまとめて、また再発防止も含めて、全議員に説明いただくというところでよろしく願いいたします。この場所で再度行います。

議会運営委員会を閉じます。

午前10時29分 閉会

上記会議録は事実と相違ないので署名する。

令和4年9月14日

議会運営委員会

委員長 中山 真由美